

「快報 風険消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風険消息」の速報版です。

2020年7月28日

<新型コロナ>高・中リスク地域に求められる感染防止対策

中国国内における新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、最近になって徐々に増加傾向を示している。今後の感染症の広がり方によっては、現在安全であると判断されている地域が、感染リスクが高いとされる高・中リスク地域に指定されることも想定しておく必要がある。本稿では、高・中リスク地域に拠点を置く、もしくは往訪する可能性がある企業に求められる対策について解説する。

1. 直近の中国における感染症の発生状況・対策

中国国家衛生委員会や各省・市による直近のデータを見ると、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、一定期間低い水準で推移していたが、徐々に増加傾向となっていることが確認できる。

表1に直近5日間のうちに、中国国家衛生委員会より公表された内容を取りまとめている。これらの情報によると、中国全土における感染者数自体が増加していること、新規感染者は国外からの渡航者ではなく、中国国内での感染例が増加していることがわかる。特に、長期間にわたり感染者が発生していなかった地域でも、急激に感染者数が増加しているケースがあることに注意が必要である。

表1 感染症の発生状況・対策

日付	詳細
7月22日	<ul style="list-style-type: none">✓ 中国国家衛生委員会によると、新規感染者が22名(中国国内:19名、渡航者:3名)発生。うち18名は新疆ウイグル自治区で発生したものである。 <p>※新疆ウイグル自治区では7月17日に感染者が発見された。同自治区での新規感染者発生は5カ月ぶりである。</p>
7月23日	<ul style="list-style-type: none">✓ 大連市当局によると、水産加工工場および関連する企業において、3件の感染事例を確認した。上記を受け、大連市地下鉄運営有限公司は、7月22日から軽軌3号線「大連湾」駅を封鎖し、すべての車両が通過するよう、対策を講じた。地下鉄の利用者に、マスクの着用、健康コードの提示、体温検査に応じることを求めている。✓ 中国国家衛生委員会によると、新規感染者が21名(中国国内:15名、渡航者:6名)発生。うち13名は新疆ウイグル自治区、2名は遼寧省で発生したものである。

7月24日	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国国家衛生委員会によると、新規感染者が34名(中国国内:29名、渡航者:5名)発生。うち20名は新疆ウイグル自治区、9名は遼寧省で発生したものである。
7月25日	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国国家衛生委員会によると、新規感染者が46名(中国国内:35名、渡航者:11名)発生。うち22名は新疆ウイグル自治区、13名は遼寧省で発生したものである。
7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中国国家衛生委員会によると、新規感染者が61名(中国国内:57名、渡航者:4名)確認された。うち41名は新疆ウイグル自治区で発生したものである。 ✓ 遼寧省大連市では、7月22日以降、大連市大連湾街道でクラスター感染が発生。これに伴い、市の感染予防・抑制指揮部はPCR検査を全面的に展開することとした。

(出典) 中国国家衛生委員会 HP、在瀋陽日本国総領事館在大連領事事務所 HP

2. 感染リスク等級の把握

高・中リスク地域に拠点を置く、もしくは往訪する可能性がある企業における安全対策の第一歩は、自社に関連する地域の感染リスク等級を把握することである。地域ごとの感染リスクについては「疫情等級查詢(URL <http://m.dl.bendibao.com/news/yqdengji/?qu=>)」で確認ができる。各リスク等級(高リスク・中リスク・低リスク)の考え方は、表2のとおりである。

企業は、自社各拠点の所在地や、訪問する可能性がある地域のリスク等級を定期的に確認し、高・中リスクに該当する場合には、可能な限り外出や出張を制限する等の対応が求められる。

なお、前述の遼寧省大連市における感染リスクの評価状況(7月27日17時現在)は、図1の通りである。

図1 感染リスク等級(大連)



表2 リスク等級の考え方

リスク等級	政府の行動方針
高リスク	地域内での感染拡大、地域外への感染流出の防止対策を徹底的に実施する。
中リスク	地域外からの感染流入、地域内での感染拡大対策を実施する。
低リスク	地域外部からの感染者の流入防止を図る。

(出典) 国家衛生健康委員会の記者発表による

3. 企業として講じるべき対策

感染が落ち着いたと考えられていた地域、または現時点では感染者数の増加が確認されていない地域でも、上述の表1と同様の状況が発生し、高・中リスク地域に指定される可能性も考えられる。

自社や取引先の所在地が高・中リスク地域に該当した場合には、早急に感染防止対策のレベルを一段引き上げる必要がある。そのためには、高・中リスク地域となった場合の対応ルールを予め検討しておきたい。自社に関係する地域が高・中リスクなった場合に、企業として講じるべき対策（共通事項、自社拠点が高・中リスク地域に該当する場合、取引先が高・中リスク地域に該当する場合）についてとりまとめる。

表3 高・中リスク地域に関連する対応チェックリスト

分類	実施事項
共通	<input type="checkbox"/> 感染リスク等級を定期的に把握し、最新情報の収集を継続する。
	<input type="checkbox"/> 社員の直近の出張・旅行歴、訪問先を把握する
	<input type="checkbox"/> 通勤・就業中の手洗い、マスク着用などの感染予防対策の引き締めを行う
	<input type="checkbox"/> 飛沫感染を防止するため、人との距離を 2m 程度確保する
	<input type="checkbox"/> 不要不急の外出、不特定多数の人が集まる場へ行くことを控える
	<input type="checkbox"/> 不要不急の社内会議などを避ける（実施する場合は、換気を徹底する）
	<input type="checkbox"/> 多くの人が触れると想定される箇所を触らない
	<input type="checkbox"/> 多くの人が触れる箇所を定期的に清掃・消毒する
	<input type="checkbox"/> 社員本人・家族に朝夕と体温測定を実施させ、健康状態を把握する
自社が高・中リスク	<input type="checkbox"/> 外出を禁止し、従業員へリモートワークの指示を行う（推奨する）
	<input type="checkbox"/> （出社が不可避の場合）シフト勤務、時差出勤を実施し、同時に勤務する社員数を制限する
	<input type="checkbox"/> 地域外への往訪（移動）を自粛・禁止する
	<input type="checkbox"/> 地域内の往訪（移動）機会をできるだけ少なくする
	<input type="checkbox"/> 地域外の取引先から自社への訪問を禁止する
	<input type="checkbox"/> 地域内の取引先から自社への訪問を禁止する
	<input type="checkbox"/> 直近 2 週間で自社社員が往訪した取引先を確認し、必要に応じて取引先へ情報共有する
	<input type="checkbox"/> 当局の指示・要請状況も踏まえ、自社社員の PCR 検査実施を検討する
取引先が高・中リスク	<input type="checkbox"/> 取引先への往訪を禁止する
	<input type="checkbox"/> 取引先からの訪問を禁止する
	<input type="checkbox"/> 直近 2 週間で取引先の社員が自社を訪問した履歴を確認する （必要に応じて濃厚接触者に該当する社員の PCR 検査の実施を検討する）

以上

執筆: インターリスク上海 コンサルティング部 副経理 阿部 龍之介

瑛得管理諮詢(上海)は、中国・上海に設立されたMS&ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

<お問い合わせ先>

瑛得管理諮詢(上海)有限公司 (日本語表記: インターリスク上海)

上海市浦東新区陸家嘴環路 1000 号 恒生銀行大廈 14 楼 23 室

TEL:+86-(0)21-6841-0611(代表)